

やっと木坂2.0と木坂3.0の 違いがわかった気がします。

どうも、和佐です。

今回は「リーダー養成講座オンライン」の追加募集の案内をさせていただこうと思うんですが、その前に、最近になってようやく「木坂2.0」と「木坂3.0」と呼ばれる（僕が勝手に呼んでいる）、木坂さんの思想の違いが理解できた気がするので、そのことについてシェアさせてください。

「そんな話はいいから、とにかく講座の案内をしてくれ」というやる気がみなぎっている人はこちらのリンク先に今回の講座の内容と期間限定オファーの内容がまとめられているので、こちらから先にご覧ください（後からでもいいので、このPDFも読んでくださいね）。

[今すぐリーダー養成講座オンラインのオファーを確認する
（1月19日まで限定）](#)

さて。

話を戻しますが、僕と木坂さんの出会いは2006年の春頃でした。

もうすぐ丸18年が経つんですね。

当時の僕はまだ18歳だったと思うので、もうかれこれ人生の半分の期間を「木坂チルドレン」として生きてきたことになります。

別に僕は木坂さんを盲信しているわけでも、崇めているわけでもなく、

あくまでフラットな目線で見ているつもりですが、フラットな目線で客観的に考えても木坂さんの存在は、

“控えめに言って、影響力が凄すぎる”

と思います。

特に日本のネットビジネスの世界においては、木坂さんの及ぼしてきた影響は計り知れないものがあります。

もちろん、木坂さんはあまり表に出るタイプではないので、直接影響を与えてきた「人数」という意味では少ないかもしれませんが（それでも10万人以上は確実ですが）。

しかし、様々なビジネス系のセミナーや成功者と呼ばれる人たちの源流を辿ればほぼ100%の確率で木坂にたどり着くわけです

（特にDRM・コピーライティング・コミュニティという分野において木坂さんの影響を受けていない人はいません）。

だから木坂さんから生み出されたものが直接的・間接的に与えてきた影響は、文字通り測り切れないほどになります。

そんな木坂さんの歴史（僕が出会ってからの18年間）において、**実は2度の大幅なバージョンアップが行われていたことをご存知でしょうか？**

これを僕は「木坂1.0」「木坂2.0」「木坂3.0」と呼んでるんですが、正直、僕自身もこのバージョンアップにまだまだついていけない部分があると感じていました。

これだけ近くにいて、毎月対談をしている僕がついていけないわけですから、多くの人、いや実はほとんどの人が、まだまだ最新の「木坂3.0」についてよくわかっていないんじゃないかと思います。

まあ、理解できたからなんなんだと言われそうですが、そう言わずにもう少しだけ話を聞いてください。

木坂1.0～3.0までの違いをキーワードで表すとすれば、

- **木坂1.0は「成功」**
- **木坂2.0は「コミュニティ」**
- **木坂3.0は「幸福」**

となります。

実は木坂さんは大学で「平和学」の研究をしていたらしいんですが、色々と研究していくうちに、

「世界平和を実現させるためには真のエリート教育が必要だ」

という結論に至ったそうです。

僕と出会った頃の木坂さんはこの思想の元、

「成功者（エリート）を増やすことこそが、世界平和の実現の鍵だ」

と考えて、ビジネスを教える活動を始めていたわけですが（いや、これは本人から聞いたわけではなくて、僕の解釈の話なんですけど）。

だから当然、「成功する」ということに拘っていました。

「幸福だのなんだのと、あるかどうか分からないものを求めるより、さっさと成功して現実的な影響力を身につけたほうが世のため人のためになるだろ。

成功もしていない奴に幸福を語る資格なんてない。」

と。

もしかしたら言い過ぎかもしれませんが、とにかくこのくらい「マッチョ」な思想の持ち主だったわけです。

だから当時の木坂さんの教えるビジネスやマーケティングのノウハウは徹底的に合理的かつ、極めて再現性の高いものでした。

今では考えられないかもしれませんが、当時の木坂さんは「怖い」と思われていて、ちょっとでも弱音を吐いたら〇されるんじゃないかと、みんなビビっていました。

今とはずいぶん違いますよね？

（今は半分マスコットのようなものですから 笑）

これが「木坂1.0」です。

そこからしばらくが経ち、木坂さんは

「コミュニティ」

という概念を、恐らく日本で初めてビジネスの文脈で語るようになりました。

2012年に開催された「Stay Goldセミナー」が一番最初ですね。

このセミナーは色んな意味で衝撃的なセミナーだったんですが、僕が特に印象に残っているのは、

「これからのビジネスは全てコミュニティ化していかないと、遅かれ早かれ衰退していく。コミュニティ化したビジネスこそが最も儲かるし、合理的なんだ。」

という話でした。

例えばセミナーの中では、

「1万円のコース、3万円のコース、10万円のコースがあったとしたら、従来のビジネスだとほとんどの場合、1万円のコースが一番売れて、10万円のコースが一番売れない。でも、コミュニティ化しているビジネスの場合は10万円のコースから先に売り切れるんだ。」

という事例が紹介されていました。

実際に木坂さんの講座は一番高いコースが先に売れて、安いコースはほとんど売れていなかったそうです。

売上の比率で考えると8:2とか、9:1で高いコースの売上がほとんどになる、と（例えば売上が1億円なら、8000~9000万円分は高いコースが売れているってことです）。

この事実は僕にとっても、このセミナーに参加した人にとっても、本当に驚きでした。

だって心理学を学んだ人はわかると思いますが、心理学の実験や定説では、もしも松竹梅の3つのコースがあるなら、梅か竹が売れて、

松は一番売れないと言われていますから。

このセミナーを受講した当時の僕は、

「なるほど。」

**ビジネスをコミュニティ化すればもっと儲かるのか
(=競争力が高まるのか)。」**

と、興奮したものです。

これが「木坂2.0」です。

「今」の木坂さんを知る人にとっては、この「木坂2.0」に少し違和感を覚えると思いますが、その理由はとても簡単で、この当時はまだ、

「コミュニティ化＝成功法則」

という文脈で語られていたからです。

もちろんこれはこれで間違っていないし、実際、今の世の中ではまだまだコミュニティを一種の成功法則として捉えているはずです。

もっと言えば「儲かるビジネスモデル」だと思っているはずです。

特にビジネスの世界で語られている「コミュニティ」という言葉は、2012年当時の「木坂2.0」の劣化版のようなものばかりです。

そこからさらに時は流れ、2018年。

木坂さんは謎の奇病に犯され、一時的に半身不随になる事態に見舞われ

ました（危うくダブル車椅子コンビになるところでした）。

結局この症状は未だに原因が不明だそうです、40度を超える高熱が続き、身体中に激痛が走り、下半身が動かなくなり、医者からも「**このまま一生歩けなくなる可能性もある**」と診断され、1ヶ月ほど緊急入院をしていた時期があるのです。

この入院がハッキリとしたキッカケかはわかりませんが、この頃から木坂さんの思想は「**成功**」から「**幸福**」へシフトしていきました。

正確には、

「幸福は人生の本質」 「成功はただの目標達成」 「成功の延長に幸福があるとは限らない」

ということをハッキリと語るようになったのです。

実はこの入院期間中には「21世紀の帝王学セミナー」という1年ものの講座をやっていたんですが、「入院前の木坂」と「入院後の木坂」で、明らかに違う（より洗練され、バージョンアップされた）木坂になっているんです。

セミナー映像を見返すとめっちゃくちゃ面白いので、機会があればぜひ「21世紀の帝王学セミナー」も学んでみてください（和佐・木坂アーカイブスで販売されています）。

こんなに人は変わるのか？と、驚くほどです（笑）

これが「木坂3.0」です。

こうやって順を追っていくと木坂さんの進化がよくわかりますが、木坂さんのバージョンアップは別に1.0を否定して2.0になっているわけではありません。

木坂的に言えば、

「踏まえて乗り越える」

という形でバージョンアップが行われているのです。

どうしようもなく飽き性の僕が、18年間も飽きずに木坂さんと一緒に活動が続けられている理由は、彼が毎年のように進化している姿を間近で見られるのが楽しいからだと思います。

彼は本当に見ていて飽きない生き物ですよ（笑）

しかし、問題は、

「僕らが木坂の進化についていけているか？ その意味を本当に理解できているか？ 腑に落とすことができているか？」

ということです。

もう1度キーワードを並べますが、

- ・木坂1.0は「成功」
- ・木坂2.0は「コミュニティ」
- ・木坂3.0は「幸福」

この中に1つだけ「仲間はずれ」があることに気が付くでしょうか？

そう。

実はこの中で「幸福」というキーワードだけが仲間はずれな感じになっているのです。

なぜなら、「成功」と「コミュニティ」は、「ビジネスの成功法則」という土台を共有していますが、「幸福」は「成功法則」ではありませんからね。

だから「成功×コミュニティ」は現実的に理解しやすいけど、「コミュニティ×幸福」となると、急にお花畑な空気が出始めてしまうのです（苦笑）

つまり、「木坂1.0」から「木坂2.0」へのバージョンアップはスムーズに行えるけど、「木坂3.0」を腑に落として、実践するのはとても難しいわけです。

丁度、2012年の当時の僕が、

「なるほど。

**ビジネスをコミュニティ化すればもっと儲かるのか
（＝競争力が高まるのか）。」**

と、素直に理解し、実行に移せたように「1.0」から「2.0」への移行はとても簡単です。

しかし、現在進行形でビジネスを頑張っている人や現実社会で生きている人にいきなり「成功という目標を捨て、幸福を目指せ」と言ってもほとんどの人は困ってしまうわけです。

**「成功の延長線上に幸福が待っているとは限らないってことは、
理屈ではわかるけど、でもやっぱり現実的にある程度成功して
いなければ、貧乏になって野たれ死んでしまうんじゃないか・・・」**

と。

だって僕は生まれてからずっと、家でも学校でも、そうやって
教えられてきたし、成功者に憧れ、無条件に羨ましいと思って
しまったり、貧乏を過敏に恐れるように育てられてきました。

「お金は大事」

たぶん、これを言われて反対する人はいないでしょう。

人生はお金だけではないけど、お金がなければ何もできない、と。

特に僕ら世代より上（30代半ば）だと、結婚して子供がいたり、
起業して社員を雇っていたり、それなりの「地位や役割」を持っている
ことが多いはずです。

子供の頃のように自分の好き勝手に生きるわけにもいかない
（子供の頃から好き勝手生きてこなかった人は尚更苦手ですよ）。

今の世の中は資本主義社会なんだから、そのルールに則って、
やっぱり「成功」することが一番大事で、自分の幸福はその後から
考えても十分遅くはないはずだ、と。

そう考える人が大半のはずです。

実は僕もそうでした。

僕だって2006年から起業して、家族を養ったり、社員を抱えている

身ですから、そんな僕が急に、

**「もうこれからは自分の幸福を
最優先して生きていくんだ！」**

なんて言い出したら、結構ヤバイですよ（苦笑）

そう。

だから実は僕の中でも、理屈は理解できているけど、心の底の芯の部分ではまだ、「木坂2.0」と「木坂3.0」の違いを踏まえて乗り越えることができていなかったのです。

しかし最近ようやく、本当によろしく、僕の中で「木坂2.0」を踏まえて乗り越えることができた気がしたのです。

そのキッカケは・・・

**まさかあの音声を聞き逃して
ないですよね？**

そう。

先日配信した音声です。

この音声では「マネタイズ」について木坂さんに質問したんですが、その質問に対して何気なく返ってきた、

「幸福に軸足を置いて、 もう一方の足を成功に置けばいい。」

というアイデアが、僕にとって衝撃的過ぎたのです。

音声内でも僕は驚いているというか、若干興奮していると思いますが、後から思い返せば思い返すほど、この「ピボット理論」は秀逸です。

僕らの対談はいつも打ち合わせゼロ、台本なしで、いきなり録音ボタンを押してはじまることで有名ですが、打ち合わせも台本もないからこそ、こーゆービッグアイデアがポロツと出てくるんです。

これを聞いて僕は、

**「なるほど。
僕はまだ軸足を「成功」に置いていたな。」**

と、素直に自分の状態を理解できたわけです。

そして同時に、

**「幸福に軸足を置きさえすれば、
もう一方の足はどこに置いても
幸福から一切遠ざからない。」**

という、衝撃的な事実気がついたわけです。

つまり、軸足は「幸福」、もう一方の足は「成功」に置けばあら不思議。

当たり前のように「幸福」と「成功」が両立してしまうわけです。

しかし、これが「逆」だったらどうでしょう？

つまり「成功」に軸足を置いた状態で、もう一方の足を「幸福」に置くことはできるのか？ということです。

もしかしたら言葉遊びのように思われるかもしれませんが、
「成功」に軸足を置いている（優先順位の一番上にある）状態では、
残念ながら「幸福」を目指すことは原理的に不可能です。

だって「成功」が優先順位の一番上なわけですから、
必然的にもう一方の足は「**成功を加速させる何か**」に置かれるか、
あるいは「**成功とトレードオフの何か**」に置かれてしまうのです。

例えばそれは成功を加速させるほどの、

「**合理主義**」かもしれないし、
「**利己主義**」かもしれないし、
「**儲け主義**」かもしれないし、

あるいはトレードオフとしての、

「**孤独**」かもしれないし、
「**犠牲**」かもしれないし、
「**罪悪感**」かもしれません。

何にせよ、「成功」に軸足を置く限りは、もう一方の足は
「**成功に付き纏う何か**」に縛られ、ピボットの自由があるようで、
どこに足を置いても「地獄」という状態になりかねないわけです。

こうやって何気なく飛び出てきた「ピボット理論」で世の中の

成功者（と呼ばれる人たち）を見ていくと、今までとは全く違う見方ができるようになるはずです。

今まで尊敬していたあの人も、凄いと思っていたあの人も、有名なあの人も、実は「成功」に縛られ、不自由な人生を生きているんじゃないかと。

もちろん当の本人にとってはそんなことは大きなお世話でしょうが、自分の人生の軸足を「成功」に置くことが、実はそんなに合理的な判断ではないってことがよくわかると思います。

特にあなたが人生で大事にしたいものが、

「自分の時間」

「家族」

「仲間」

「愛」

「真善美」

などの、およそ「成功」とはかけ離れたものであるなら、なおさら、というか、絶対に「成功」に軸足を置いてはいけません。

しかし逆に「幸福」に軸足を置けば、これらは両立するわけですから（「成功」も含めてピボット（自由に移動）可能ってことですから）。

どうでしょう？

これでめちゃくちゃシンプルに、そして素直に「木坂3.0」を理解し、

実践できる気がしませんか？

もしかしてこんなに衝撃を受けているのは僕だけですかね？（笑）

で。

実はここまでが「前置き」です。

いつものことながら前置きに6000文字近く使ってしまいましたが、
今回の「本題」は「**リーダー養成講座オンライン**」です。

ここまでの話を踏まえた上で、今回追加募集をする
「リーダー養成講座オンライン」が、あなたの人生にとって
どれほど重要なものなのか？

もっと言えば、

**「あなたがリーダーとして生きていくとは
どういう意味なのか？」**

という話をしたいと思います。

また話が長くなると困るので「結論」を先に言っておきますが、

**「これからの時代のリーダーとは、
自分の幸福に軸足を置き、
誰よりも自分らしく生きている人」**

のことです。

「タマゴが先か、ニワトリが先か？」という問題に似ていますが、結論から言えば、本当の意味での次世代のリーダーというものは、「成ろう」と思っても成れるわけではありません。

古典的なビジネスのロジックでは、仮想敵を設定して、その仮想敵を打倒したい仲間を集め、打倒するための武器やサービスを売ればよかったわけですが、こーゆー「**アジテーション（扇動）型**」のリーダーは古い世代のリーダーになります。

今の時代、そしてこれからの時代のリーダーは、

「結果的に選ばれる人」

のことを指します。

つまり、幸福に軸足を置いて、誰よりも自分らしく生きていれば、その結果として、自然と選ばれるリーダーになり、本人が望む、望まないに関わらず、他人に影響を与えてしまう存在になる、のです。

リーダーは作為的に作るものではなく、結果的に選ばれるものだってことですね。

だから・・・

**あなたは自分の人生をもっと
充実させていけばいい。**

ということになります。

ただし、軸足を「成功」ではなく、「幸福」に置いて、です。

僕らが、

**「リーダー養成講座は全人類が学ぶべき
講座であり、小学校の義務教育に
取り入れるべきものだ。」**

と、大真面目に考えている理由は、この講座がまさに、

**「幸福に軸足を置いて、もう片方の足で
自由自在にピボットする方法が
学べる講座」**

だからです。

こんな講座は世界中探してもどこにもないと思います。

どうでしょう？

「リーダー養成講座オンライン」に俄然興味が湧いてきませんか？
(笑)

もしここまでの話を聞いて興味を持ってくれたなら、続いてこちらの
PDFを開いてみてください。

↓

「リーダー養成講座オンライン」追加募集のご案内

※1月19日まで限定

この続きのPDFには、「リーダー養成講座オンライン」の具体的なカリキュラムに加え、1月19日まで限定のオファーについて詳しく書かれています。

1月19日で締切なのでご注意を。